

学科名	建築学科
コース名	
授業科目	高度建築設備
必選	必
年次	4年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	小川 泰志
実務経験	有
実務経験職種	設備設計
授業概要	大規模な施設や特殊な建築物に応用される設備について学びます。
到達目標	設備設計に必要な以下の3点を到達目標とする。 ①建築設備の環境への影響、建築設備の現状について理解する。②圧力損失の理論と計算方法について理解する。③建築設備の維持監理について理解する。
授業方法	建築および都市に設けられている各種の環境設備、利便設備、安全設備、エネルギー供給設備等の技術について最新の状況を学び、環境や建築に対する影響について学習する。
成績評価方法	授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する。
履修上の注意	最新の建築、都市設備に関する内容であることをふまえ、社会の状況、特にエコロジーの視点にたった情報やニュースを積極的に普段より見ておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。マナーについては、日本工学院授業心得（学生用）を守ること。
教科書・教材	なし

授業計画

第1回	設備と環境
第2回	各種建築設備の現状
第3回	エネルギー供給設備
第4回	新しい建築設備とその実際(1)
第5回	新しい建築設備とその実際(2)
第6回	新しい建築設備とその実際(3)
第7回	ダクトの圧力損失(1)
第8回	ダクトの圧力損失(2)
第9回	配管の圧力損失(1)
第10回	配管の圧力損失(2)
第11回	建築設備の制御
第12回	都市設備
第13回	建築設備と維持監理(1)
第14回	建築設備と維持監理(2)
第15回	建築設備と維持監理(3)
第16回	期末試験